

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

こども未来館わくわく体験事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

高松市

3 地域再生計画の区域

高松市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、42万人規模を維持しているものの、平成23年以降、死亡数が出生数を上回り、自然減の状態が続いている。

このような中、次の世代を担う子どもたちが、心豊かに、健やかに育つとともに、子育て中の親たちが、安心して子どもを育むことができる環境を整えるため、「子ども・子育て支援」、「学習体験」、「市民交流」の機能を持った子育て支援と教育支援の拠点として、科学展示室やプラネタリウム、プレイルームなどを設置したこども未来館を中心に、夢みらい図書館、平和記念館、男女共同参画センターを併設した「たかまつミライエ」を整備したところである。

本事業は、中核施設となるこども未来館において、子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流、子育てに係る支援並びに学習及び体験活動の場を提供し、子どもの夢や想像力を育むとともに、健やかな成長に資するものであり、子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実を図り、子どもを生き育てやすいまちを創ることにより、出生率の向上を目指し、人口減少に歯止めをかけることを目的とする。

【数値目標】

事業	こども未来館わくわく体験事業		年月	
	K P I	こども未来館来館者数（人）		合計特殊出生率
申請時	—		1.65	H29.1
初年度		70,000	1.66	H30.3
2年目		100,000	1.67	H31.3
3年目		100,000	1.68	H32.3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2（3）に記載

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

（1）事業名：こども未来館わくわく体験事業

（2）事業区分：少子化対策

（3）事業の目的・内容

（目的）

本市の人口は、42万人規模を維持しているものの、平成23年以降、死亡数が出生数を上回り、自然減の状態が続いている。

このような中、次の世代を担う子どもたちが、心豊かに、健やかに育つとともに、子育て中の親たちが、安心して子どもを育むことができる環境を整えるため、「子ども・子育て支援」、「学習体験」、「市民交流」の機能を持った子育て支援と教育支援の拠点として、科学展示室やプラネタリウム、プレイルームなどを設置したこども未来館を中心に、夢みらい図書館、平和記念館、男女共同参画センターを併設した「たかまつミ

ライエ」を整備したところである。

本事業は、中核施設となるこども未来館において、子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流、子育てに係る支援並びに学習及び体験活動の場を提供し、子どもの夢や想像力を育むとともに、健やかな成長に資するものであり、子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実を図り、子どもを生き育てやすいまちを創ることにより、出生率の向上を目指し、人口減少に歯止めをかけることを目的とする。

(事業の内容)

・公募イベント（年間8日）

多目的室、体験学習コーナー等を使い、市民活動団体や大学等に委託して、子どもと保護者が一緒に楽しめる遊び体験などの集客力の高いイベントを実施する。市民活動団体等との連携強化やノウハウを有する民間の運営への参画などにより、魅力ある事業を実施

・こども未来館まつり（11月）

NPO等に委託して、こども未来館の開館を記念したアート体験や遊び体験、科学体験等を行う。

※各年度の事業の内容

初年度) 公募イベント、こども未来館まつり等を実施

2年目) 公募イベント、こども未来館まつり等を実施

3年目) 公募イベント、こども未来館まつり等を実施

(4) 地方版総合戦略における位置付け

たかまつ創生総合戦略においては、こども未来館を活用しながら、子どもの成長段階に応じ、多様な体験学習の機会を提供することで、子どもの創造力や探究心を育むとともに、次代の親の育成にも取り組むこと

としており、「こども未来館わくわく体験事業」は、この趣旨に沿って、事業を実施するものである。また、総合戦略の基本目標の一つに合計特殊出生率（27年度 1.62→31年度 1.68）を定めており、本事業はこの目標達成に寄与するものである。

（５）事業の実施状況に関連する客観的な指標（重要業績評価指標 K P I）

事業	こども未来館わくわく体験事業		年月
	K P I		
	こども未来館来館者数（人）	合計特殊出生率	
申請時	—	1.65	H29.1
初年度	70,000	1.66	H30.3
2年目	100,000	1.67	H31.3
3年目	100,000	1.68	H32.3

（６）事業費

単位：千円

年度	H29	H30	H31	合計
委託料	3,000	3,000	3,027	9,027
合計	3,000	3,000	3,027	9,027

（７）申請時点での寄附の見込み

年度	H29
法人名	日本メンテナンスエンジニアリング(株)
見込み額（千円）	250

（８）事業の評価方法

（評価の手法）

事業のKPIであることも未来館来館者数について、実績値を公表する。また、「たかまつ創生総合戦略推進懇談会」（高松大学、高松商工会議所、四国経済産業局、百十四銀行、日本労働組合総連合会香川県連合会、四国新聞社等の外部有識者で構成）において、事業の結果を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を改良することとする。

（評価の時期・内容）

毎年度9月までに「たかまつ創生総合戦略推進懇談会」において、効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する予定。

（公表の方法）

目標の達成状況については、検証後速やかに高松市ホームページで公表する。

（9）事業期間

平成29年4月から平成32年3月まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

（1）妊娠期からの子育て世代包括支援事業

事業概要：総合的相談支援を提供するワンストップ拠点である子育て世代包括支援センターを整備し、母子保健コーディネーターを配置するなど、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援に取り組む。

実施主体：高松市

事業期間：平成28年度～

(2) 多子世帯保育料等減免事業

事業概要：市独自の幼稚園・保育所等の利用料の第2子以降の多子世帯への上乗せ減免等を実施する。

実施主体：高松市

事業期間：平成28年度～

(3) 子育て世代親元近居等支援事業

事業概要：子育て世帯と親世帯とが同居又は同一小学校区に近居するに当たり、転居等の費用に対し助成を行う。

実施主体：高松市

事業期間：平成28年度～

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

事業のKPIである子ども未来館来館者数について、実績値を公表する。また、「たかまつ創生総合戦略推進懇談会」において、事業の結果を検証し、改善点を踏まえて次年度の事業手法を改良することとする。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年度9月までに「たかまつ創生総合戦略推進懇談会」において、効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する予定。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

目標の達成状況については、検証後速やかに高松市ホームページで公表する。